

令和6年5月2日

各位

会社名 株式会社 R I S E
代表者名 代表取締役社長 芝辻直基
(コード番号 8836)
問合せ先 コーポレート統括部 経営管理部
担当部長 杉山 顕士
(TEL : 03-6632-0711)

特別損失（減損損失）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は令和6年3月期第4四半期連結累計期間において、下記の通り特別損失（減損損失）を計上するとともに、令和6年2月14日に発表しました、令和6年3月期（令和5年4月1日から令和6年3月31日）の通期の業績予想（連結）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上

当社の連結子会社であるFREアセットマネジメント株式会社は、今後の賃貸不動産市況動向を踏まえ将来の回収可能性を慎重に検討した結果、同社が保有する固定資産（土地）の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として21百万円計上いたします。

2. 令和6年3月期の（連結）業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	347	11	10	3	△ 1円 48 銭
今回発表予想 (B)	349	15	13	△ 11	△ 1円 66 銭
増減額 (B - A)	2	4	3	△ 14	—
増減率 (%)	0.6	36.4	30.0	—	—
(ご参考) 前期実績 令和5年3月期	339	3	10	24	△ 1円 25 銭

3. 修正の理由

売上高につきましては、新規不動産管理受託契約が増加したこと等による管理事業売上高の増加で、前回発表しました予想を2百万円上回る見込みであります。

利益面につきましては、売上高増加によるものに加え、本社経費の減少等により販売費及び一般管理費が2百万円減少し営業利益は4百万円、経常利益は3百万円それぞれ前回発表しました予想を上回る見込みであります。また、今回の特別損失（減損損失）の計上と法人税等の見直しにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表しました予想を14百万円下回る見込みであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以上